

改善意見（大学院総合社会情報研究科）

I 理念・目的・教育目標

【改善事項】

理念・目標の変更は考えていない。状況の変化に応じて絶えず見直しを行うことが望ましい。

【改善目標】

理念・目標の変更は考えていない。

【改善達成時期】

理念・目標の変更は考えていない。

【改善担当部署】

II 教育研究上の組織

【改善事項】

社会のニーズ、および入学者のニーズに対する認識をより徹底させる。これらのニーズに照らしたカリキュラムの不断の検討、および改定。そのための常設的な機関の設置することが望ましい。

【改善目標】

同上

【改善達成時期】

【改善担当部署】

教員、事務組織と連携して取り組むべき課題である。

【改善事項】

学問分野，研究テーマにとっては，学部段階で基礎教育を受けないまま入学してくる者が若干名，見受けられる。これらのものに対する，補正教育ないし基礎教育の徹底を行う。

【改善目標】

同上

【改善達成時期】

【改善担当部署】

教員

【改善事項】

理念・目的を理解できていない学生に対する指導の徹底。

【改善目標】

同上

【改善達成時期】

【改善担当部署】

教員

Ⅲ 教育研究の内容・方法と条件整備

【改善事項】

他研究科との単位互換・単位認定等を実施していない。他の研究科で要望が多いようであれば検討課題として挙げられるべきであろう。

【改善目標】

同上

【改善達成時期】

【改善担当部署】

他の研究科で要望が多いようであれば、教員、事務組織と連携して取り組むべき課題である。

【改善事項】

指導体制の充実と指導内容の向上のために、担当教員に対する物的・人的なアシスタンスの、なお一層の拡充が望まれる。

【改善目標】

同上

【改善達成時期】

【改善担当部署】

教員、事務組織と連携して取り組むべき課題である。

【改善事項】

修了者を対象とした、「アフターケア」体制の整備

【改善目標】

同上

【改善達成時期】

【改善担当部署】

本部校友会事務局と連携して取り組むべき課題である。

IV 学生の受入れ

【改善事項】

博士前期課程の志願者が減少の傾向にあるので、広報活動を充実させるほか、修了者が新規の志願者を紹介できるような状況を築き、少しでも上向くように取り組む。

【改善目標】

同上

【改善達成時期】

【改善担当部署】

広報部、入試事務室等と連携して取り組むべき課題である。

V 教員組織

【改善事項】

博士前期課程及び博士後期課程とも設置基準数を満たしており、改善事項・改善目標は無い。

【改善目標】

同上

【改善達成時期】

【改善担当部署】

VI 研究活動

【改善事項】

教員の多くが学会等で研究活動を行っており、成果発表も停滞なく実施できているため改善事項・改善目標は現在のところ無い。

【改善目標】

同上

【改善達成時期】

【改善担当部署】

VII 施設・設備等

【改善事項】

自宅から学術情報にアクセスできる機能を構築する。

【改善目標】

学生・教員の自宅から、学内と同様の学術情報を検索できるシステムについて、平成18年度中に運用を開始する予定である。

【改善達成時期】

平成18年7月にテスト運用を開始する。

【改善担当部署】

教員，大学院事務課

VIII 社会貢献

【改善事項】

継続して公開講座を年4，5回実施できており，現在のところ，改善事項・改善目標は特に無い。

【改善目標】

同上

【改善達成時期】

【改善担当部署】

X I 事務組織

【改善事項】

滞りがちの業務を円滑に遂行する。

【改善目標】

課員の増員は見込めないので、業務の合理化を進める以外方策が見つからない。

【改善達成時期】

【改善担当部署】

大学院事務課

X II 自己点検・評価

【改善事項】

自己点検・評価委員会を設け、検討を行う。

【改善目標】

同上

【改善達成時期】

平成18年4月に委員会を設置した。

【改善担当部署】

総合企画部等と連携して取り組むべき課題である。

以 上